

2018年11月7日

【為替ヘッジあり】東欧金融事業者支援ファンド 37号運用状況についての満期時報告

表記ファンドはこのたび満期償還を迎えましたので、満期時報告を以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額	: JPY 51,760,000.-
うち投資総金額	: JPY 48,136,800.-
うちヘッジ担保金	: JPY 2,588,000.- (USDJPY 113.19)
うち運用手数料	: JPY 1,035,200.-

## ===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2017年10月19日
グループ会社貸付金額	: EUR 362,475.90
適用直物 EURJPY レート	: 132.80
適用先物 EURJPY レート	: 131.68
グループ会社貸付期間	: 2017年10月19日から2018年10月25日
資金運用日数	: 371日
グループ会社貸付金利（年利）	: 12.4%

## ===運用終了時の状況===

予定グループ会社返済利息額	: EUR 45,685.88
実現グループ会社返済利息額	: EUR 45,685.88
運用目標達成率	: 100.0%
実現元利金返済額	: EUR 408,161.78
グループ会社負担外為両替手数料	: EUR 0.00
出資者返済原資	: EUR 408,161.78
実現直物 EURJPY レート	: 131.68
ヘッジ担保金払戻額	: JPY 2,553,933.- (USDJPY 111.70)
円貨換算出資者返済原資	: JPY 56,300,676.-
ファンドの実現利回り	: 8.5% (期間: 2017年10月19日~2018年10月31日)
募集時期待利回り	: 8.4% (期間: 2017年10月19日~2018年10月31日)

## 運用者コメント

本ファンドはユーロ建てで当初の予定通りの利回りを達成して満期を迎えることとなりました。運用開始時に1ユーロ当たり132.80円だった換算レートが運用終了時に1ユーロ当たり127.86円と円高が進んだものの、元利金部分に円ヘッジ取引を行っていたため(約定レート: 1ユーロ当たり131.68円)ため、為替差損を限定させることができましたそれらを踏まえた円建ての運用成績は全体で4,540,676円の利益(=JPY 56,300,676-JPY 51,760,000円)となりました。

なお、ヘッジ取引におけるコストにつきましては、ファンド販売時点で見込んでいたユーロ・円の為替予約コストに対してファンド運用開始時の為替予約コストは減少しました。具体的には、ファンド販売時点の想定が「円プレミアム125銭(=ユーロ・円の直物レートに対して125銭円高の価格で為替予約が可能)」に対して、実際のコストも「円プレミアム112銭(=ユーロ・円の直物レートに対して112銭円高の価格で為替予約が可能)」となりました。これにより、当該ファンドにおいて出資者返済原資EUR 408,161.78に対して53,061円のコストがファンド販売時の想定よりも削減できました。一方で、ヘッジ取引開始時に担保金として営業者に預託した2,588,000円は、当時の為替レート(1ドルあたり113.19円)でドルに交換されて預託されておりましたが、分配時点では為替レートが1ドルあたり111.70円と円高に進行したため、34,067円(=2,588,000-2,553,933円)の為替差損が発生いたしました。

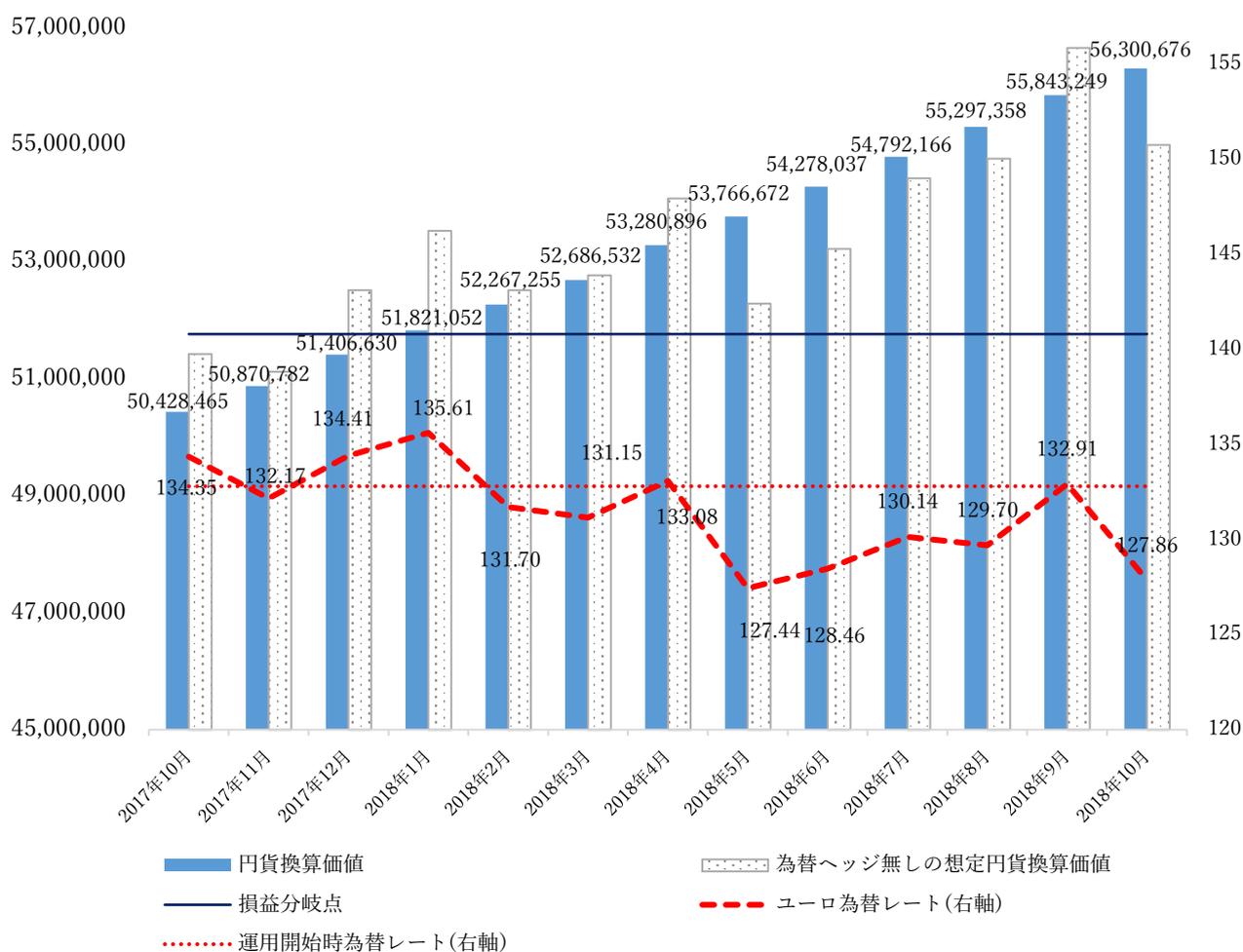
ヘッジ担保金にかかる為替リスクや為替予約コストは市場環境によって変化するため、当社で完全にコントロールすることは不可能ですが、投資家様の受け取られる収益を最大化できるよう、為替予約取引に伴うリスクやコストを削減すべく最善を尽くしております。為替変動リスクを限定しながら信用リスクに見合う収益を確保する投資案件として投資家様のお役に立てるよう邁進させていただきます。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも東欧金融事業者支援ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

運用期間のファンド価値の推移 (単位：円)

## 運用期間中の価値変動グラフ

160



### <会社概要 (クラウドクレジット株式会社) >

【代表者】 杉山智行

【設立年月日】 2013年1月

【資本金等】 1,334,548 千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第 2809 号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入